

教育時報

Educational Bulletin

12
2023

特集

岡山県教育委員会と経済6団体との 包括連携協定



インターンシップ受入事業所での様子(県立岡山御津高等学校)



地元企業経営者との交流会(県立津山工業高等学校)



包括連携協定締結式の様子

シリーズ

- ズームアップSchool!
美作市立美作北小学校 / 県立津山中学校
- 見方が変わると世界が変わる! 科学って面白い!
「ぶらんこ」
- おかやま まなびとサーチ
VR動画を活用して授業実践!

最終回!

教育時報

定期購読、
バックナンバー
のご購入は
コチラ



教職員
保護者
地域の方

岡山県の
最新教育情報を
毎月お届け

令和5年度特集テーマ

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 4月号 こうもり塚古墳の調査 | 10月号 おかやま教育情報化推進計画 |
| 5月号 教育施策の概要 | 11月号 地域がHappyになるためのつながりづくり |
| 6月号 地域学校協働活動 | 12月号 岡山県教育委員会と経済6団体との包括連携協定 |
| 7月号 県立博物館開館50周年及び全面開館 | 1月号 研修履歴を活用した対話に基づく研修の充実に向けて |
| 8月号 学校部活動の地域連携・地域移行 | 2月号 学び力の育成 |
| 9月号 第4次岡山県特別支援教育推進プラン | 3月号 コミュニティ・スクールの導入促進 |



岡山県教育委員会

みんなで学んで かがやく 未来

(「おかやま教育の日」標語)

「おかやま教育の日」11月1日

事例紹介②

津山版産学官連携事業

■ 県立津山工業高等学校

1 はじめに

美作地域には、津山圏域工業会、津山ステンレスネット、津山ステンレス・メタルクラスターなどの産業振興を目的にした企業団体が組織されています。地域の産業振興を推進するには、安定した労働力の供給が不可欠ですが、地域外からの就職は望めず、県北唯一の工業高校である本校への期待は大きく、「つやま産業支援センター」や「津山商工会議所」がコーディネーターとして産学官連携事業を

企画実施しています。

2 取組の概要

① 技術指導

企業の熟練技術者が直接生徒に「高校生ものづくりコンテスト」や「技能検定」の指導を行っています。旋盤と溶接では、ステンレスネット加盟企業数社が入れ替わりながら補習を実施しています。また、シーケンス制御では、補習だけではなく授業にも指導補助に入っていました。



地元企業による技術指導

② 交流会

津山ステンレスネット、ステンレス・メタルクラスター加盟企業の経営者と生徒の交流会を実施しています。企業経営者と生徒がグループワークを行い、社会人としての心構えから業務内容や専門的な内容まで幅広い意見交換を行い、生徒の職業観の醸成に大きな役割を果たしています。



地元企業経営者との交流会

③ つやまオープンファクトリー
令和4年度から新卒者の就職促進のため対象を小学生から高校生に広げ実施しています。つやま産業支援センターがバスを準備し、2学年が半日ずつ市内の工場見学

を行うことができ、生徒が地元企業を知る貴重な機会を創出できました。

④ 教職員との意見交換会

本年度初めて、津山ステンレスネット加盟企業と教職員の意見交換会を行いました。地元企業への就職を促進するために学校と企業が、それぞれ何ができるか知恵を出し合い、まず高校生に地元企業を知ってもらうことを目標に連携を強めることを確認しました。

3 今後の展開

津山圏域工業会との意見交換のなかで、企業説明会は、年数回実施していますが、業種や日程の面で学校と企業ともに改善の要望がありました。そこで、津山商工会議所に依頼し、本校を会場に工業に特化した企業説明会を企画しました。保護者を含めた企業説明会とすることとしました。

今後も「まずやってみよう。」を合言葉として、スピード感ある連携を推進したいと考えています。

(主幹教諭 下野 優晃)

子どもの声

保護者の声

地域の声

12月のテーマ：『産業界と連携した学び』について

「生徒から」

地元企業との連携

曾我 大翔

津山工業高校では、令和3年度から、津山圏域のステンレス加工企業でつくる「津山ステンレスネット」と連携して取組を行っています。

その一つに「地元企業との交流会」があります。企業の経営者や工場長、製造部長らが参加し、6班に分かれて代表者との意見交換や、「津山地域のものづくりの在り方」「優秀な技術者とは」をテーマに討論を行いました。

日頃、企業の方々とお話をする機会がなく大変緊張しましたが、コミュニケーションを積極的にとりながら、一人ひとりが意見を出し合うことでスムーズに討論することができました。地元企業を知るきっかけとなり、進路選択の参

考となりました。

私は、以前までは進学希望でしたが、この交流会を通して、地域のものづくりに携わりたいと思うようになりました。津山市では人口が減少し、産業を支える人材が不足していることが課題の一つになっていきます。「津山ステンレスネット」のような高度な技術をもつ企業が、地元にあるんだというのをたくさんの方々に知ってもらいたいと思います。そうすることで、少しでも課題解決に繋がるのではないかと思います。私も、地元企業に就職し、地元のものづくりの魅力を発信し、ものづくりを通して社会に貢献していきたいと考えています。

(津山工業高等学校機械科3年)

「インターシップ受入企業から」 地域を守る道を 拓こう

浦上和己

弊社は岡山御津高校の地元である御津地内で建設業と農業を営んでいる会社です。インターシップを受け入れようと思った理由として、まずは小規模建設業者の今を知ってもらいたいこと。昔から『3k』と呼ばれ若者が敬遠しがちな職場ですが、さて今はどうなのでしょう。実際の現場を体験して、将来の進路選択をサポートできたらと思います。

弊社は岡山県建設業協会に加盟しており、岡山県、岡山市と防災協定を締結しています。「地域の守り手」として、災害時には被災情報の収拾や応急復旧工事の実施など、地域の一員として減災・防災に努めています。また、農業部門は地域農業者の高齢化により耕